



2025年4月3日

各 位

会 社 名 株式会社平和堂  
代表者名 代表取締役社長執行役員CEO 平松 正嗣  
(コード：8276、東証プライム市場)  
問合せ先 上席執行役員経営戦略本部長 藤田 和生  
(TEL. 0749-23-3111)

**資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について  
(アップデート版) の公表について**

2024年4月4日に公表いたしました、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に関する進捗状況ならびに今後の取り組み内容等をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

添付資料：「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)」

以上

# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について (アップデート)

# アップデートにあたり

- 東京証券取引所  
2024年11月21日  
「投資者の目線とギャップのある事例」「投資者の視点を踏まえたポイント」を公表



- 当社
  - 投資者の視点を踏まえて、現状分析・評価を再実施
  - 投資者との対話について記載
  - キャッシュアロケーション計画の見直し

# 現状分析・評価

- PBRが長期にわたり1倍を下回っていることから、当社といたしましては「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向け、より一層の企業価値向上に取り組んでまいります
- 当社の現状の株主資本コストをCAPM(※)で自社算定すると約4.5%ですが、株式益利回りの考え方や中長期的に投資家の期待する株主資本コストの目安としてROE 8%の達成を目指します

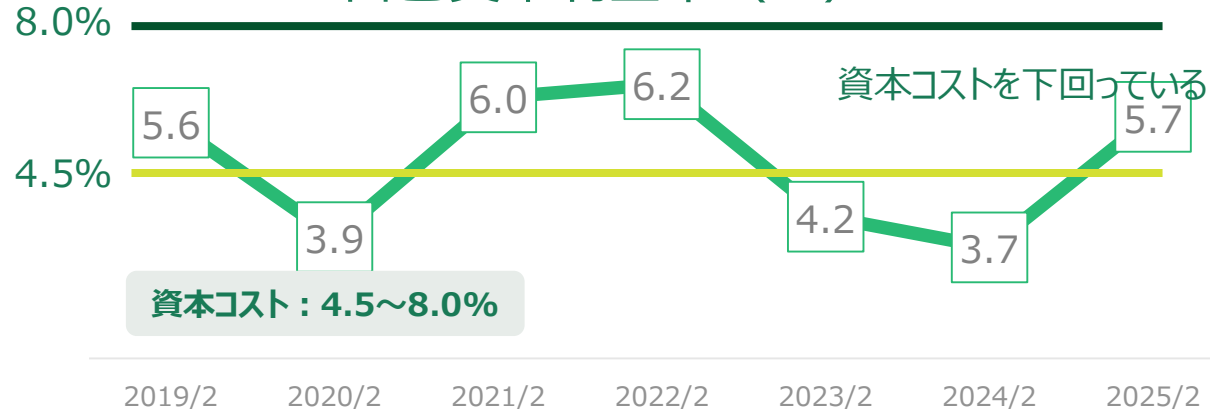
※【CAPM(資本資産価格モデル)capital asset pricing model】

	2020/2	2021/2	2022/2	2023/2	2024/2	2025/2
営業収益 (百万円)	433,641	439,326	439,740	415,675	425,424	444,898
営業利益 (百万円)	10,463	14,037	15,362	11,279	13,257	13,360
経常利益 (百万円)	11,380	15,053	16,952	13,069	14,482	14,639
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	6,101	9,724	10,647	7,516	6,784	10,727
営業利益率 (%)	2.4	3.2	3.5	2.7	3.1	3.0
ROE (%)	3.9	6.0	6.2	4.2	3.7	5.7
PBR (倍)	0.62	0.66	0.59	0.63	0.58	0.62
一株当たり純資産額 (円)	3011.81	3156.74	3340.18	3439.19	3551.29	3764.48
期末株価 (円)	1,859	2,089	1,975	2,177	2,064	2,335

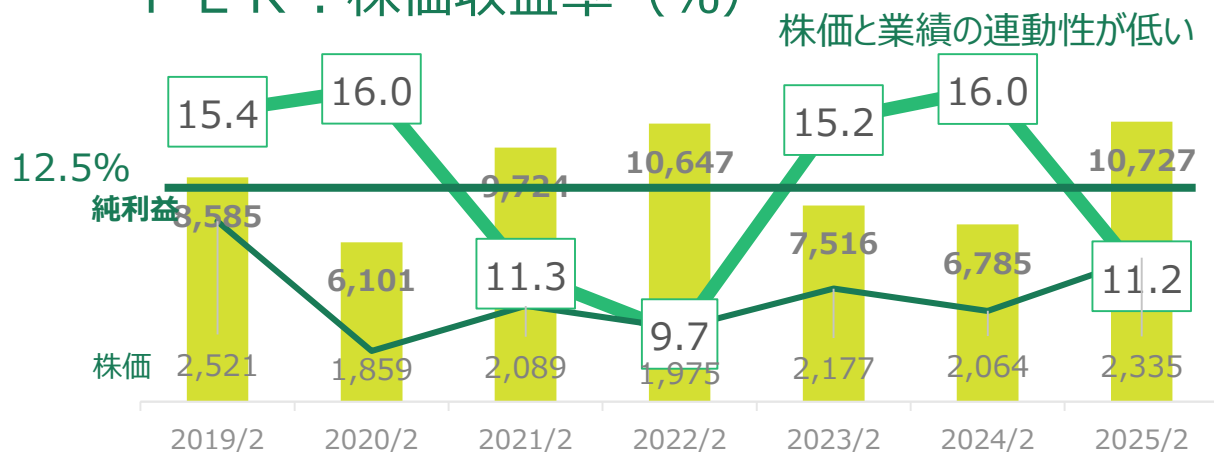
# 現状分析・評価

## ● 低PBR要因

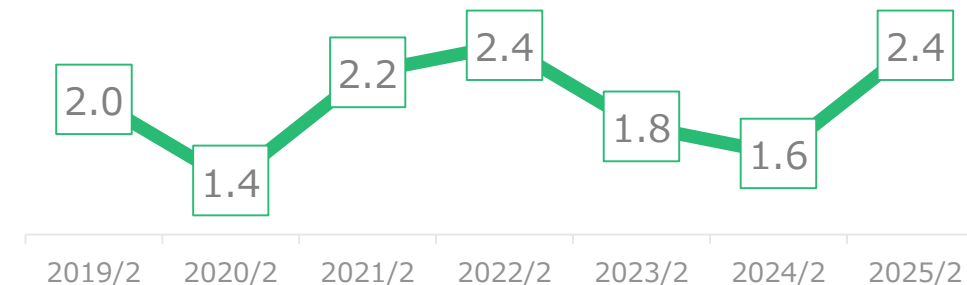
ROE：自己資本利益率 (%)



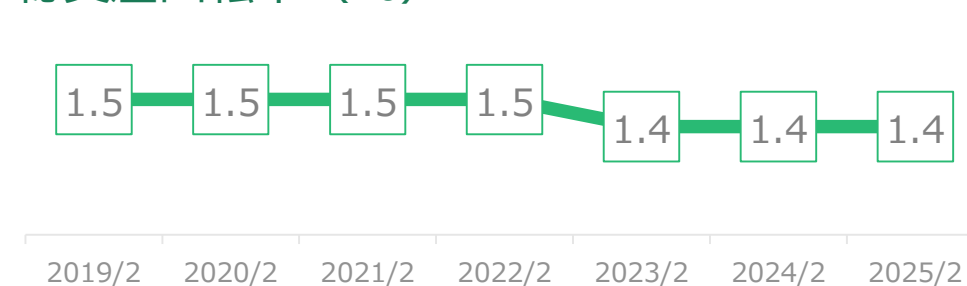
PER：株価収益率 (%)



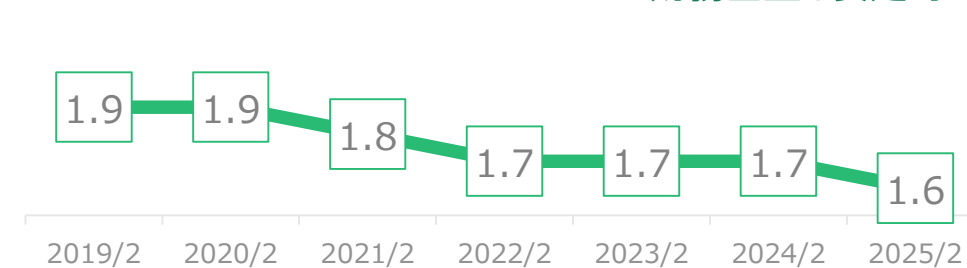
当期純利益率 (%)



総資産回転率 (%)

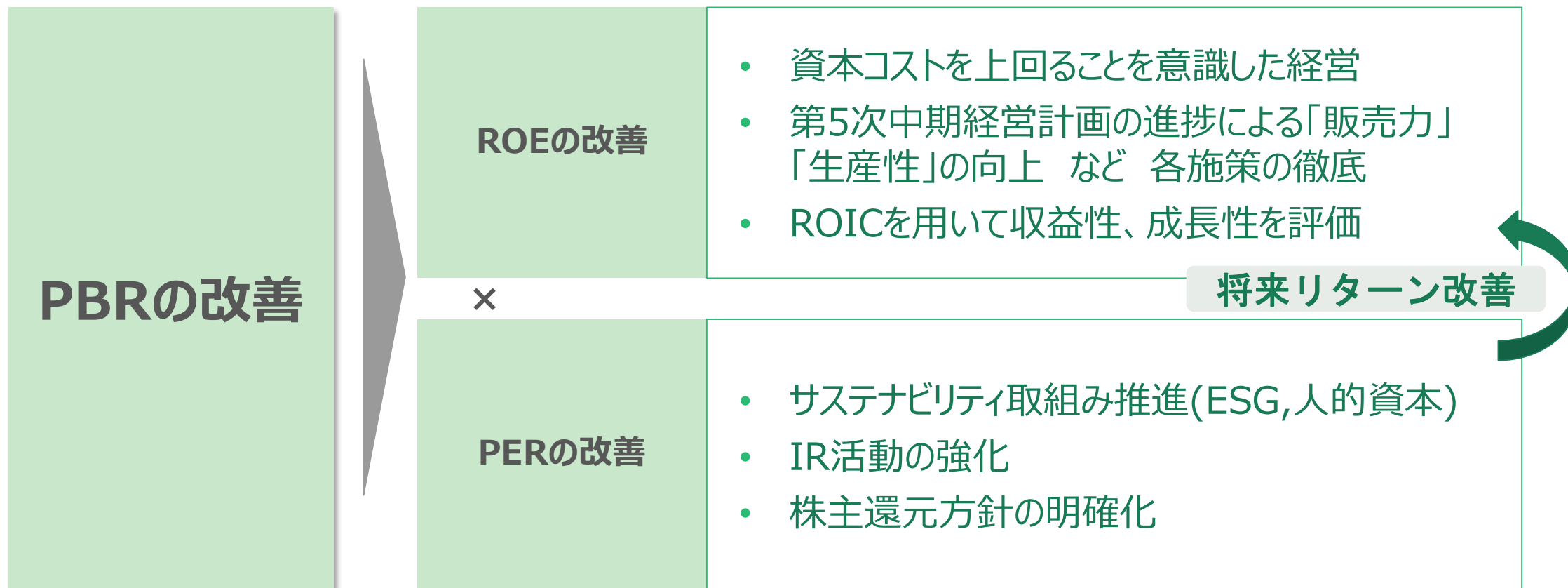


財務レバレッジ (倍)



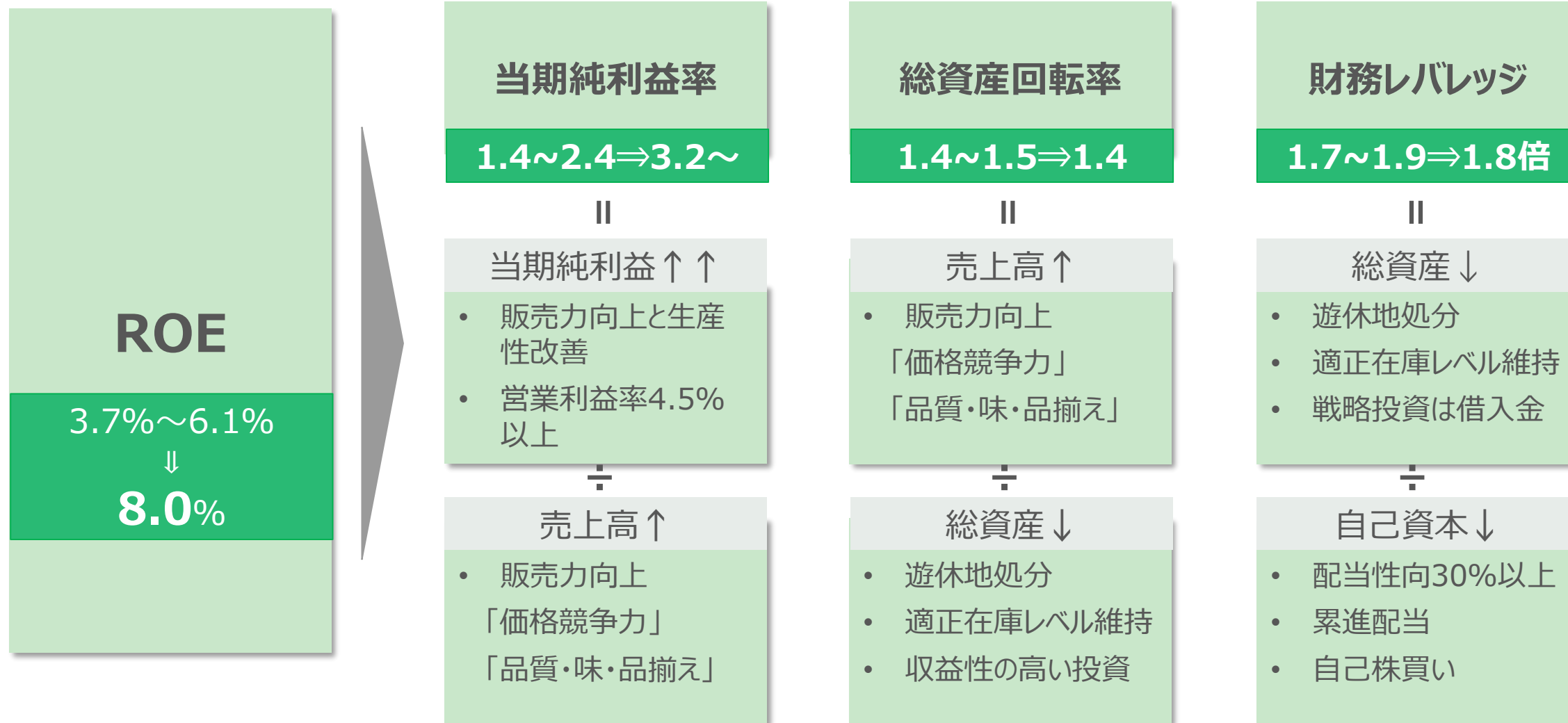
# 方針・目標

- 2030年の**営業利益率4.5%以上・ROE8%**の達成を目指して、中期経営計画において「販売力の向上」「生産性向上」を進めてまいります
- 株主還元強化を図り、自己株式取得による資本効率向上のほか、積極的なIR活動の実施によりPBR1倍を目指してまいります



# 課題と対応

- 利益率向上と資本政策によりROE**8.0%**を目指します



# 役員報酬制度の見直し

- 業績連動型譲渡制限付株式報酬制度（2024年5月導入）

## 導入の目的

- 対象取締役の報酬と会社業績及び当社の株式価値との連動性を明確にします
- 対象取締役に当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、対象取締役と株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的としています

## 判定指標

- 営業利益率  
2030年度目標に合わせる
- R O I C  
店舗段階にまで目標数値を設定し、全社一丸となって資本コストを意識した経営を実現する



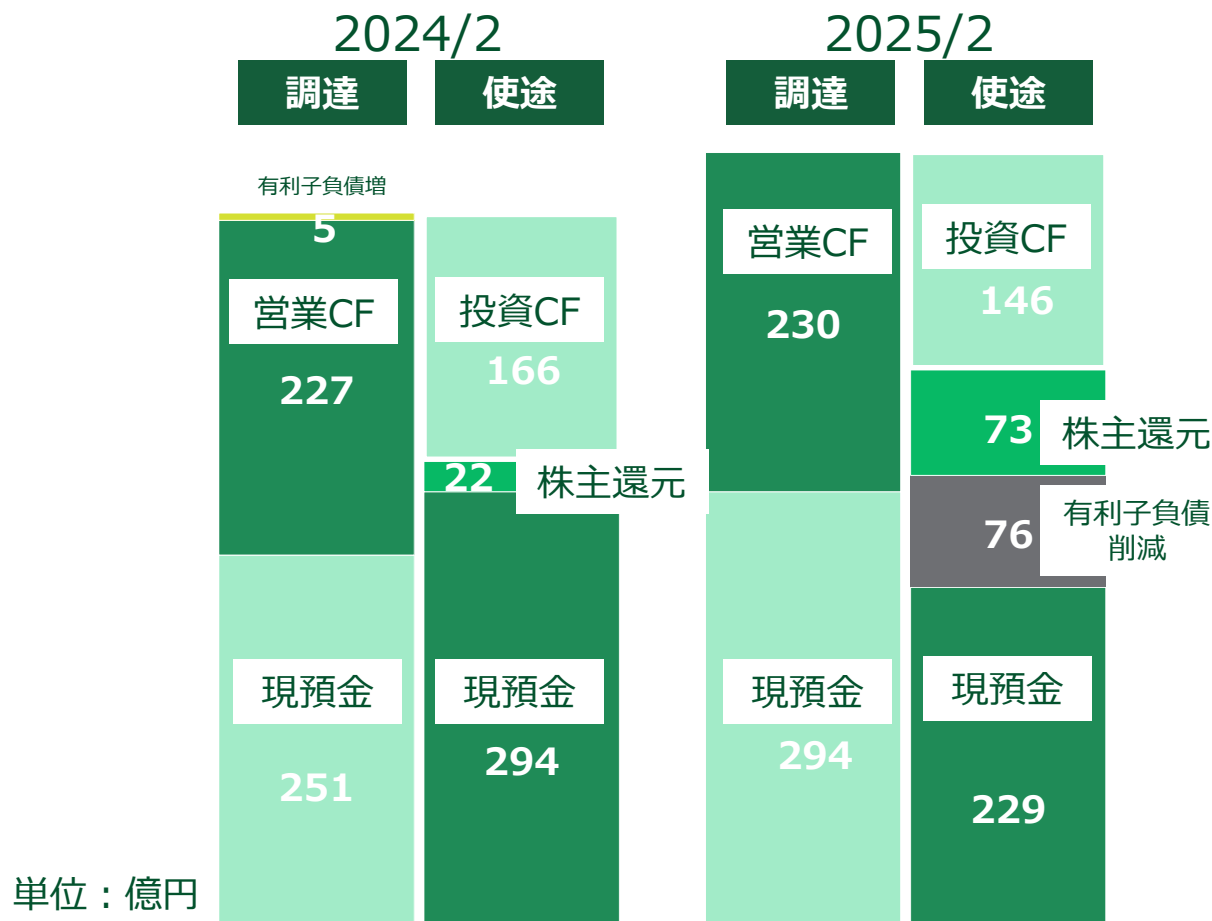
# 投資家との対話

- 投資家との対話内容は取締役会へフィードバック
- 「【機関投資家からのコンタクトを希望】する企業の明示」を実施
- 2026年2月期は、個人投資家向け会社説明会の拡充を検討
- スモールミーティング・1on1ミーティングは、前期の件数から増加できるよう体制を整える



		2024/2	2025/2
機関投資家	決算説明会ラージミーティング	2	2
	スモールミーティング	0	1
	1on1ミーティング	16	33
個人投資家	会社説明会	0	1

# 中期キャッシュフロー（2025年2月期～2027年2月期）



## 2025年2月期

- ① 増配
- ② 自社株買い
- ③ 有利子負債削減
- ④ 現預金は運営上必要な水準を意識し圧縮

## 2026年2月期～2027年2月期

- ① 業績の状況に応じた増配・自己株買いの実施により総還元性向向上
- ② 通常の投資については、営業CFの範囲で実施
- ③ 大型成長投資については借入金でROE改善

# 株主還元方針

	2021/2	2022/2	2023/2	2024/2	2025/2	2026/2
当期純利益(百万円)	9,724	10,647	7,516	6,774	10,727	10,800
1株当り配当金(円)	38	42	42	42	63	66
配当性向(%)	20.5	20.7	29.3	32.5	30.1	30.4

- 2025年2月期は、中間配当30円、期末配当は、株主還元方針に伴い配当性向30%以上を株主に還元することに従い期末配当**33**円とし、年間**63**円 とします
- 2026年2月期は、増益計画であることと配当性向30%以上を株主に還元することから、中間配当**33**円、期末配当**33**円 年間**66**円（予定） とします。
- 2027年2月期まで配当政策については「**累進配当**」とします
- 余剰資本については、株主に還元し、財務規律は維持します